

魅力満載BARCARROTA

(BADAJOZ)



- ・ 自然遊歩道
- ・ 巨墳石のある道
- ・ 伝統文化
- ・ 都市の散歩道
- ・ 観光情報の豊富な街

BARCARROTA

今この村に残されている有史以前の遺物以外で、一番古い資料は 1235 年ぐらい、のレコンキスタ（国土回復運動）時代のものである。今日でこそ少し衰えてしまったが、もともと農耕と牧畜で栄えていたこの村の文化は、歴史の大きな変遷の中から生み出された。

現在では、手作りの陶器会社や眼鏡め工場、洋服工場がある。また、この村で開催される祭りも有名である。

Feria de Septiembre (9/7~12)

Semana Santa (何百年も続いて上演されている "La Buena Mujer")

Los Marochos (6/23)

La Romeria de San Isidro (5/15)

Fiesta de la Cruz (5月の最初の週末)

通りを歩いていると、様々な歴史があることに気づく。紋章の付いた城壁、記念碑、兵舎、美しい家、噴水、円柱...

また、「LAZARILLO DE TORMES」の古い年に刊行された本が発見されたことも強調しておかなくてはならない。



HERNANDO DE SOTO

バルカロータの人々が一番誇りに思っている人は、疑いもなく、フロリダの征服者 HERNANDO DE SOTO である。彼は 1500 年ぐらいに生まれ、たいへん若い時に富と幸運を求めて大西洋に船出した。彼は自分の遠征隊を組織したが、その隊はその時代で最も大きな規模をもち、ミシシッピ川と現在のアメリカ合衆国南部を発見した。

1541年に亡くなった彼の遺体は、ミシシッピ川に埋葬された。

今日、BARCARROTA に建っている像は、アメリカ征服を成した彼への尊敬の念から 1866年に作られた物である。BARCARROTA には、定期的に北アメリカの姉妹関係にある街 BRADENTON から人々が訪れては敬意を表している。またその人たちが来たときには、街をあげて HERNANDO DE SOTO のお祭りをする。



PARROQUIA DE NTRA. SRA. DEL SOTERRAÑO

— SOTERRAÑO 教区教会 —

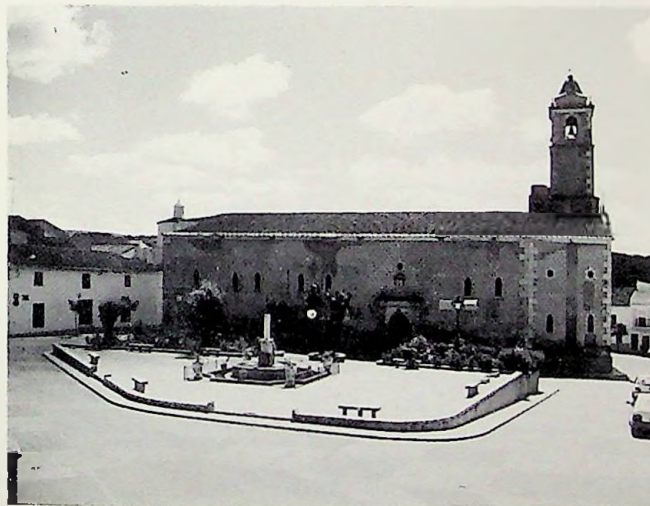
この建物で出会うであろう興味深いのは、この土地の守護聖人の名に由来する奇跡を思い起こさせる。

その場所で見つかったというその伝説とは...

一人の羊飼いが、壊れかかった自分のサンダルを修理していた時に起こった聖母マリアが眼前に現れ、SOTERRAÑO という名を授ける礼拝堂の建設を勧めたのである。

その伝説は、それ以前にもあったが、建物は 14 世紀後半に建設された。

今日、教会内部の見所は、古いバロック調のオルガン、また聖職者席の右側にあるいくつかの絵画である。この絵画の中には、例の聖母マリアが現れた場面を描いたものもあり、その絵の奥の方には古い 18 世紀の BARCARROTA の時代や 7 つの塔をもつ城も描かれている。また昔の祭壇の飾り壁にあった MORALES の作とされる絵や、この地の芸術家の様々な作品も見られる。



PARROQUIA DE SANTIAGO APOSTOL

— SANTIAGO APOSTOL 教区教会 —

この建物の起源は、13 世紀末までさかのぼる。しかし最初の文獻は、1507 年のものである。建物自体は時代とともに増改築された。

教会の中に入ると、バロック調の飾り壁に出会う。そこは円柱に囲まれ、たくさんの装飾を施した柱に囲まれた様々な像に遭遇する。

更にその中でも見所といえるのは、古代ローマ時代の水盤である。また、サン・アントニオ礼拝堂のステンドグラスも見る価値が十分ある。

今日ではほとんど見えないが、残された中世絵画の一部からも、この教会がいかに重要な位置を占めていたかを知ることができる。



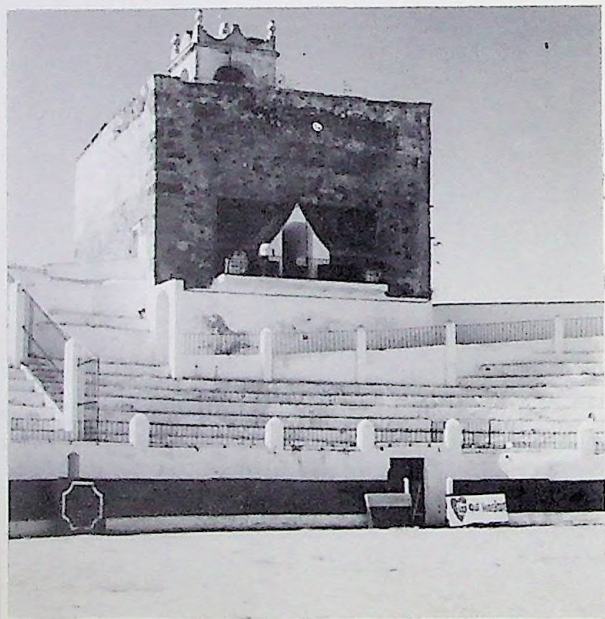
CASTILLO DE LAS SIETE TORRES

— 7つの塔をもつ城 —

城と（要塞）と闘牛場という取り合わせの絶景に出会える場所は、Barcarota を除いてはスペインでもまれである

19世紀の終わり頃、この建物の状態は決して良いといえるものではなかった。そこで、この城を囲っている要塞の壕を充ることで、闘牛場の観覧席の建設費をまかなうことが決められた

この城の建設を命じたのが誰であるかは不明だが、12,13世紀の間に建てられたこの城は、6つの塔の基礎部分と主塔、それに塔と塔を結ぶ城壁が今なお残されている



Impreso Graf Sa

DÓLMENES

— 巨石墳 —

Barcarota を訪れる旅行者にとって、この村の魅力の1つは古い時代の文化財に出会うことであろう

ソングリやコルク製の美しい木々の間を歩いていると、10の巨石墳とメンヒル（巨石を地に立てた有史以前の遺物）に遭遇する

この巨石墳は、EL MILANO（寓に見立てた名前）のように感銘を与える石があれば、可愛く、そして完璧に近い形で残されている LA LAPITA のような石もある。これらの石は、4000年以上も前のものであるが、その名を紹介すると、LA HERMOSINA, EL PALACIO, SAN BLAS, ROCAMADOR, ENMEDIO, LA RANA ……そして PIETERA という名のメンヒルである。

この石細工のそばにたたずんでいると、空想の翼が私たちに与えられ、遠い昔養蚕や嵐師がいた時代、そんな過ぎ去った時代へと誘われるのである。

